

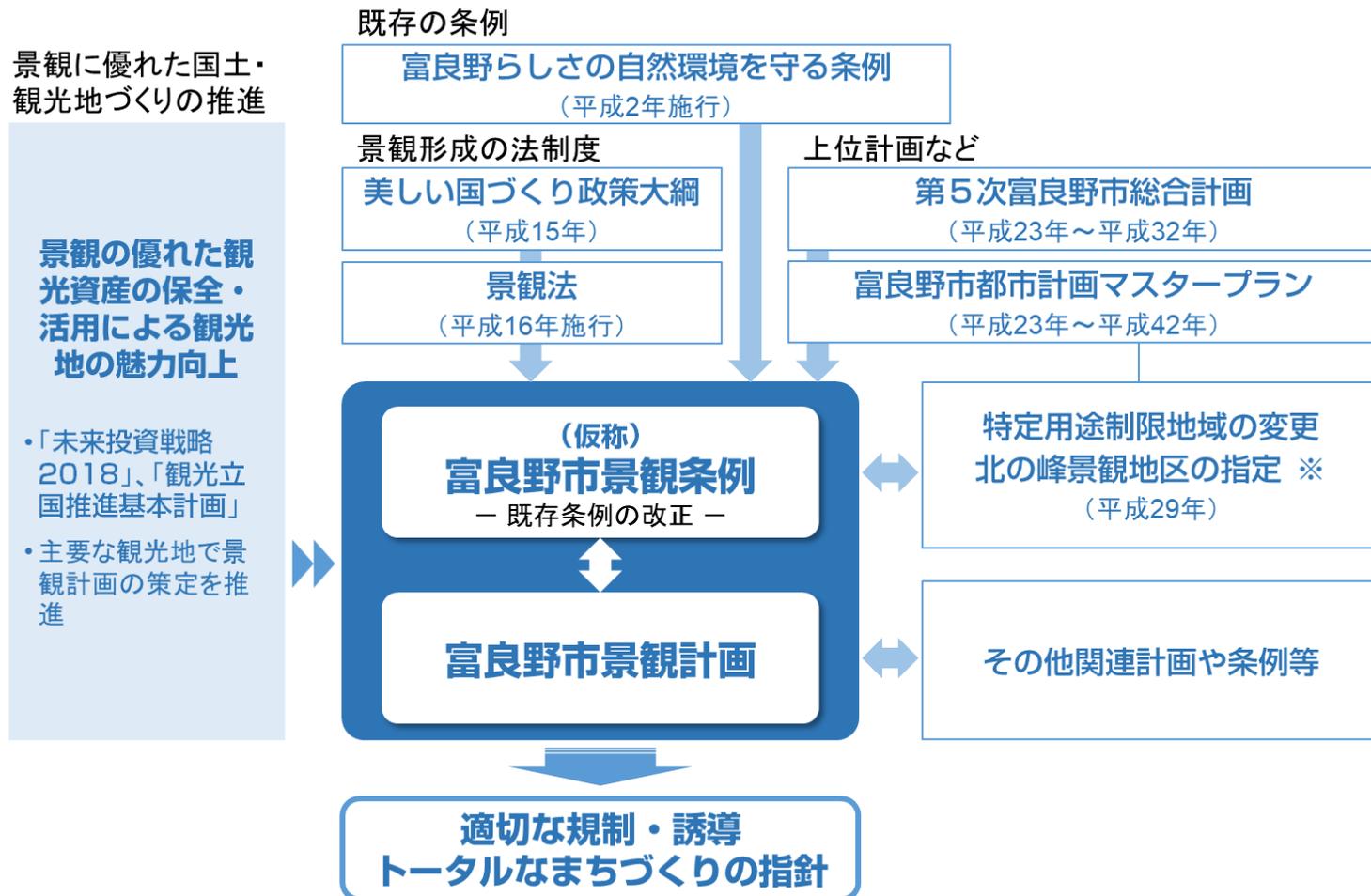
第1回
富良野市景観計画
策定委員会

平成30年11月16日（金）

1. 富良野市景観計画策定の目的

●策定の目的

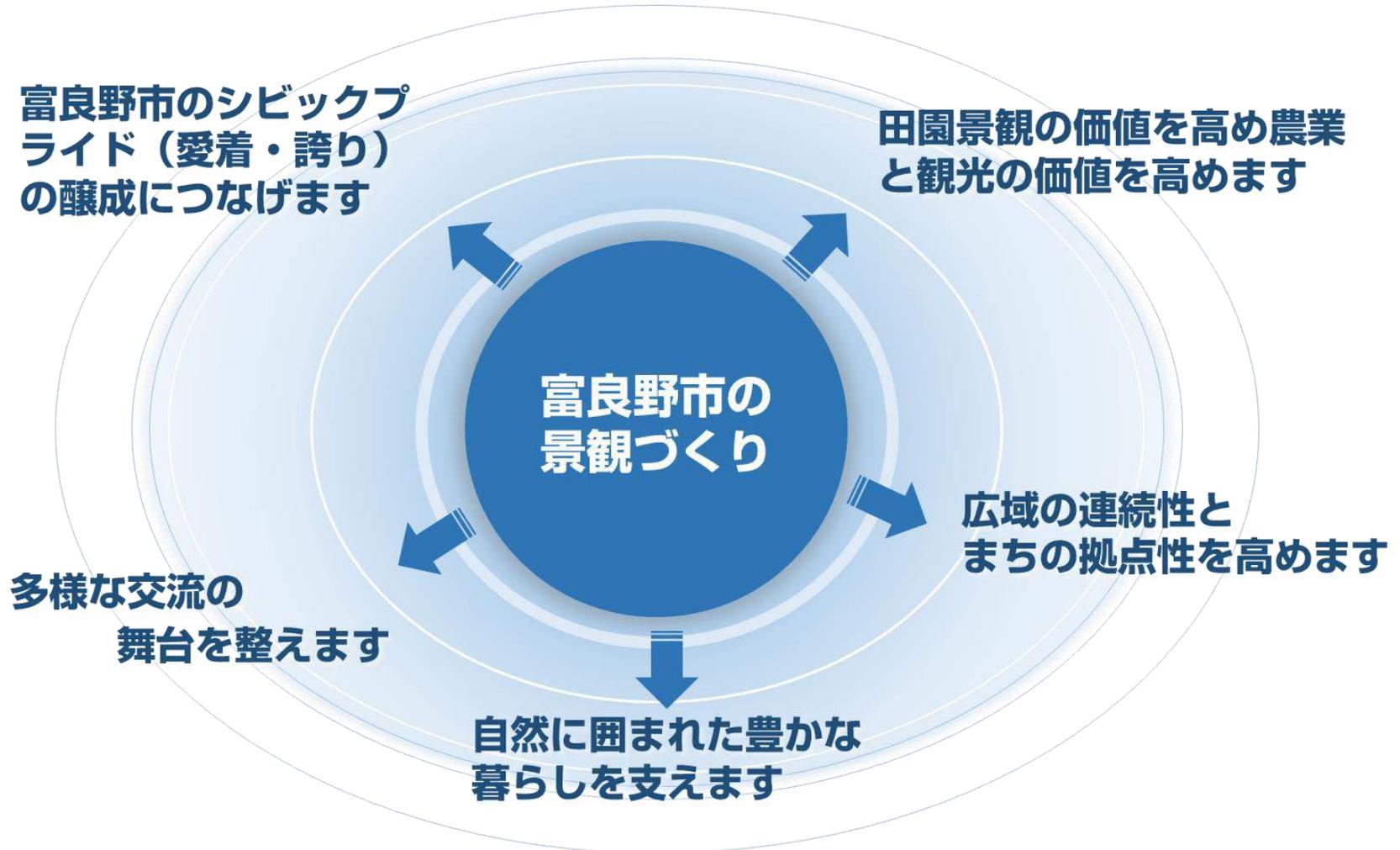
- 平成2年に制定された「富良野らしさの自然環境を守る条例」の理念を引き継ぎ、農業と観光の調和のとれた富良野らしい景観形成を図ります。



2. 想定される効果

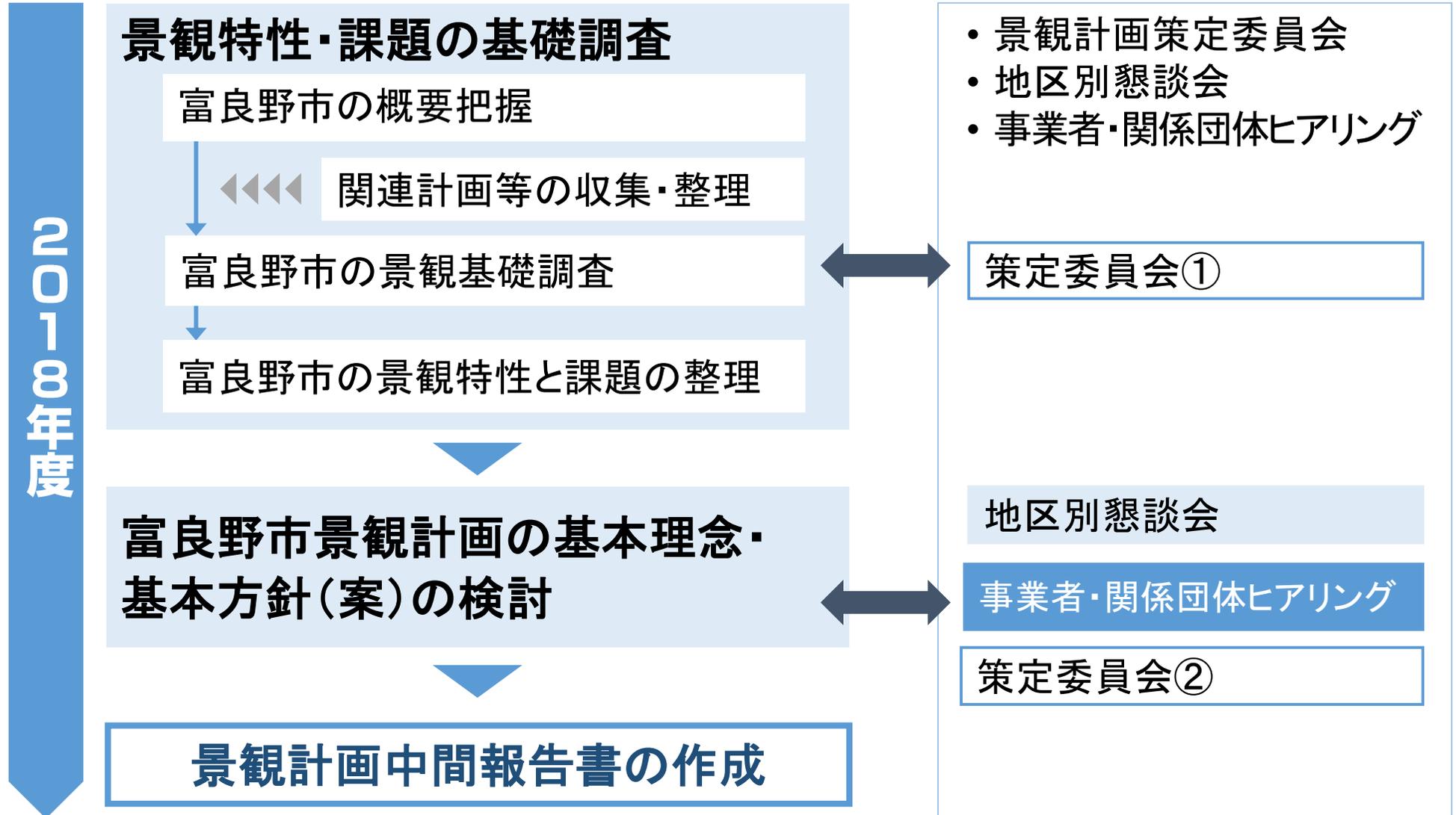
●景観計画の効果

- 富良野市の景観計画および景観条例は、富良野市の農業や観光といった地域産業や人々の暮らしを支える「トータルなまちづくり」の指針とします。



3. 策定の流れ

●2018年度



3. 策定の流れ

●2019年度

2019年度

景観形成の展開

- 富良野市の景観の基本的考え方に基づき、ゾーンごとの景観形成の方針や行為の制限、景観重要建築物等について設定

策定委員会③

地区別懇談会

事業者・関係団体ヒアリング

景観づくりの推進

- 富良野市の景観計画区域における良好な景観の形成を図るために、審議会の設置や推進体制について検討

策定委員会④

子どもWS

外国人WS

地区別懇談会

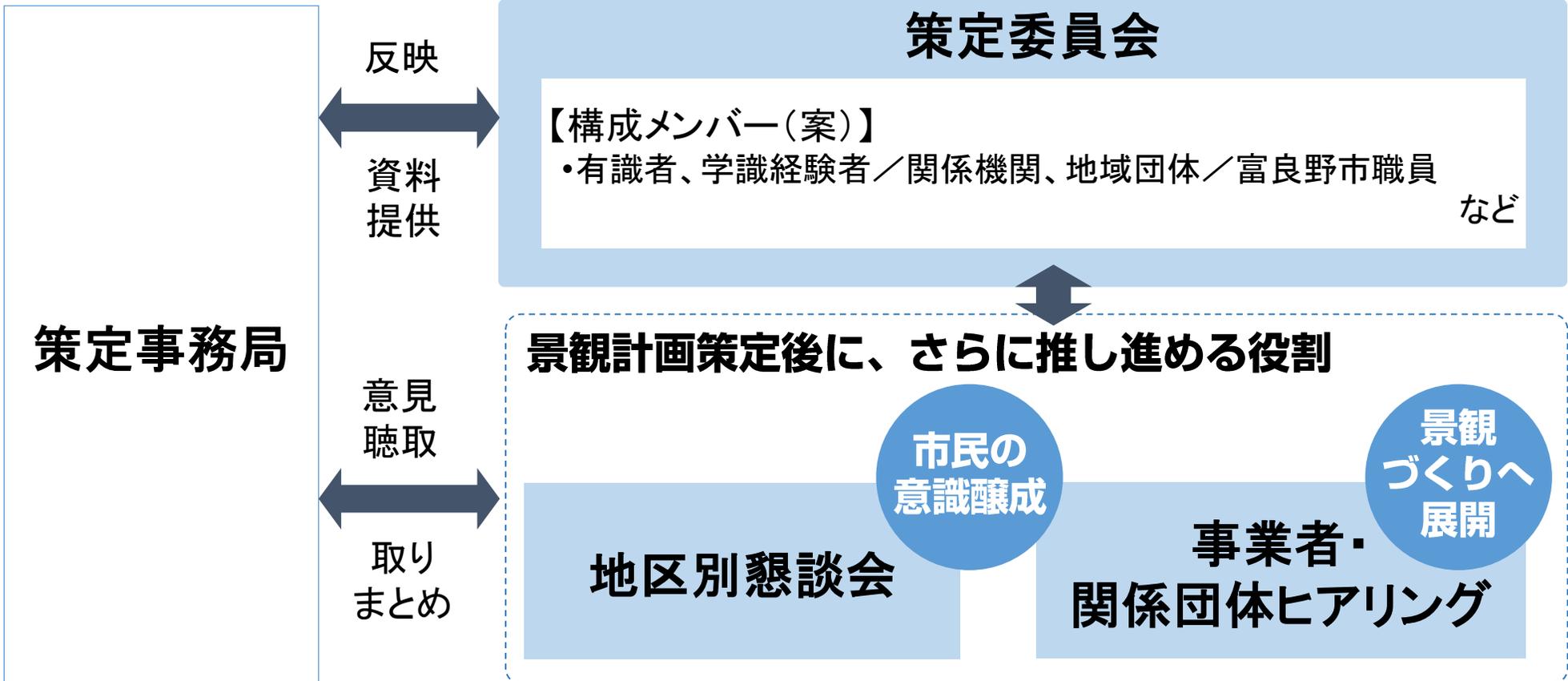
策定委員会⑤

景観計画の策定

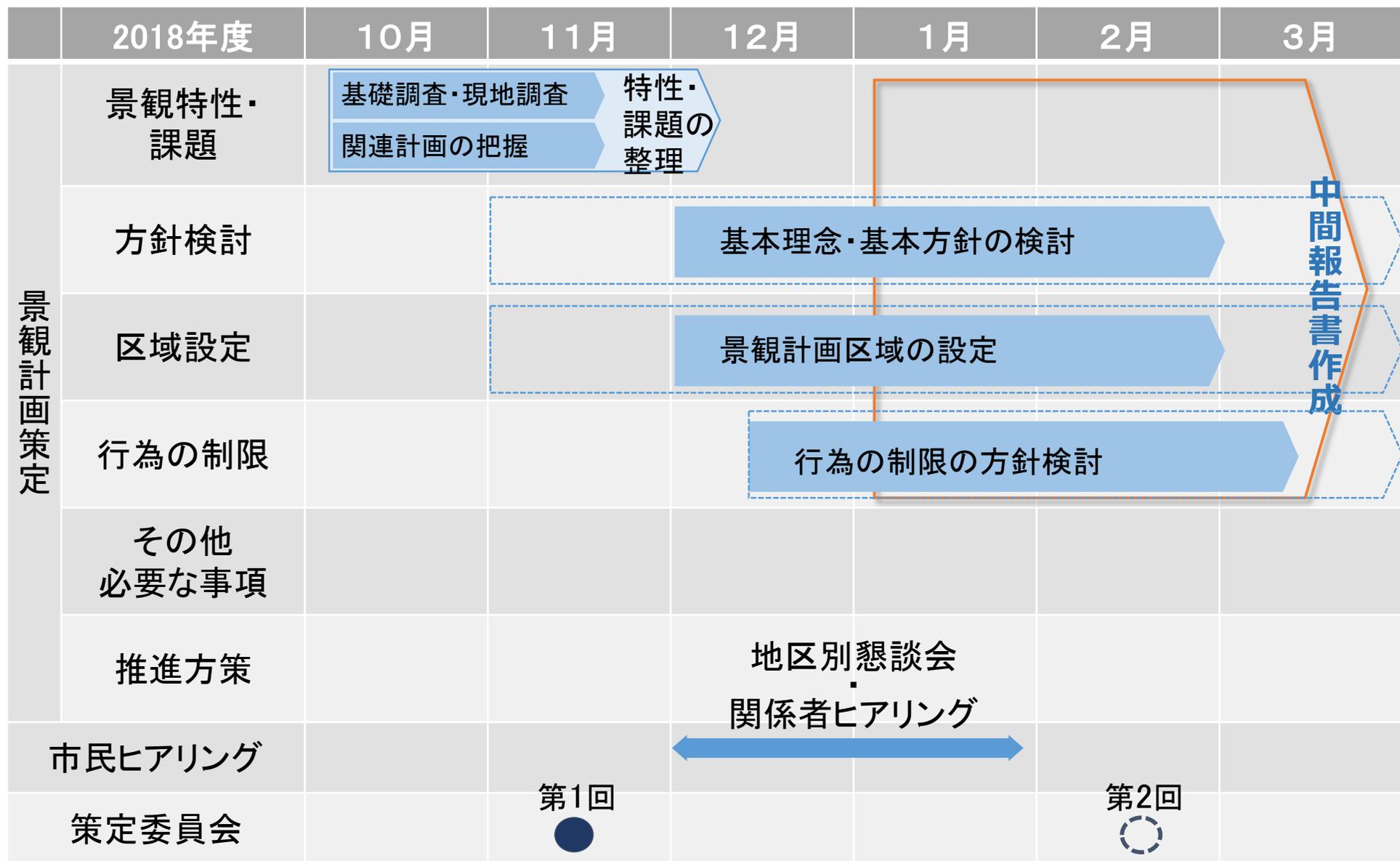
4. 策定体制

●策定体制

- 富良野市景観計画の策定体制は次の通りです。



5. スケジュール (2018年度)



6. 想定される検討事項（2018年度）

第1回策定委員会

●目的と位置づけ

- 景観計画策定の背景、目的の検討
- 景観計画の位置づけの検討

●富良野市の現状・景観特性、課題

- 富良野市の現状と景観特性の検討
- 富良野市の景観づくりにおける課題の検討

●富良野市の景観づくりにおける基本理念・基本方針

- 富良野市の景観づくりにおける基本理念・基本方針の検討
- 景観計画の全体像の検討

●景観計画区域の設定

- 景観計画区域設定の検討

第2回策定委員会

7. 富良野市の景観特性の概要

●富良野市の概要

■位置・地形

富良野市は北海道のほぼ中央に位置する富良野盆地の中心都市であり、その市域の約7割に山林が広がっています



7. 富良野市の景観特性の概要

■ 歴史

明治30年の入植以降、鉄道や道路の整備に伴う人口増加により市街地が形成されました

- 明治29年（1896年）富良野原野植民地区画の設定が行われ、翌明治30年（1897年）に中村千幹氏らが入植。
- 明治31年（1898年）美瑛、富良野および歌志内間の連絡道路の開設や、東北帝国大学農科大学看守所が設置。
- 明治33年（1900年）下富良野駅が設置されてからは急激に移住者が増加し、市地が形成。
- 明治36年（1903年）下富良野以東を分割して、下富良野戸長役場を下富良野市街地に設置。
- 昭和31年（1956年）東山村と町村合併を行い、さらに昭和41年（1966年）に山部町と合併し、市制を施行。

■ 産業

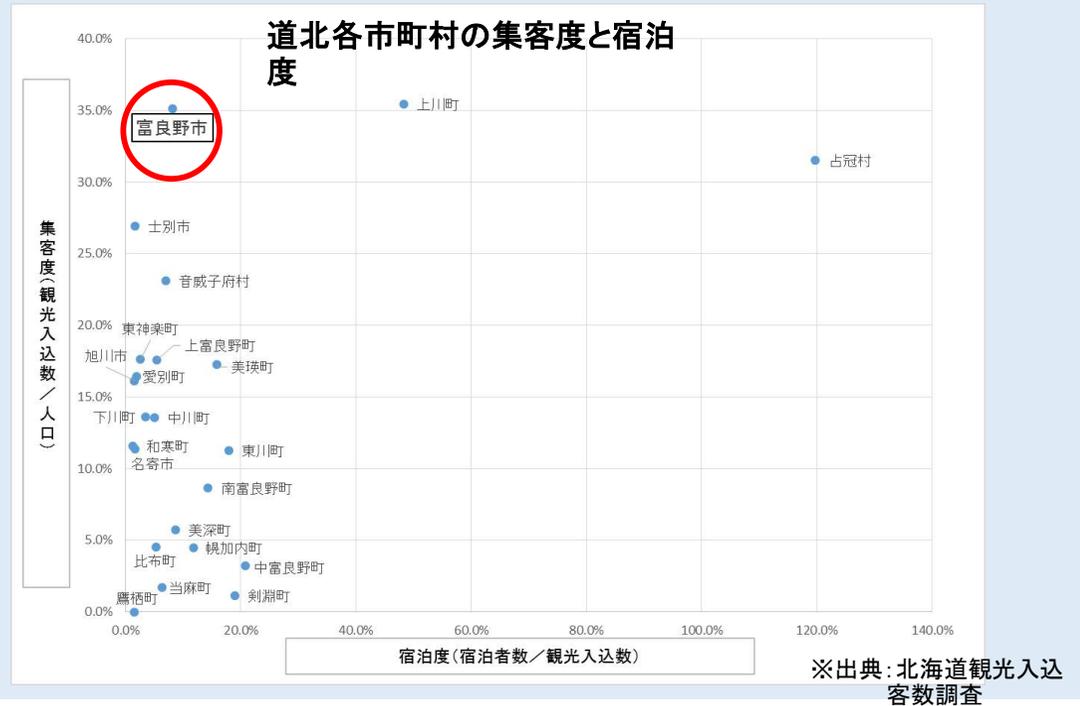
基幹産業である農業や畜産をきっかけに、ワインやチーズをはじめとする特産品が多数あり、食のブランド化が進んでいます



7. 富良野市の景観特性の概要

■観光

自然環境や食、ドラマ等のロケ地、スキー場など富良野市内の魅力の活用とあわせ、広域での観光振興に取り組み、国内外から多くの観光客が訪れています



■市街地

中心市街地の活性化による賑わいづくりが求められています

【広域の中の富良野市】

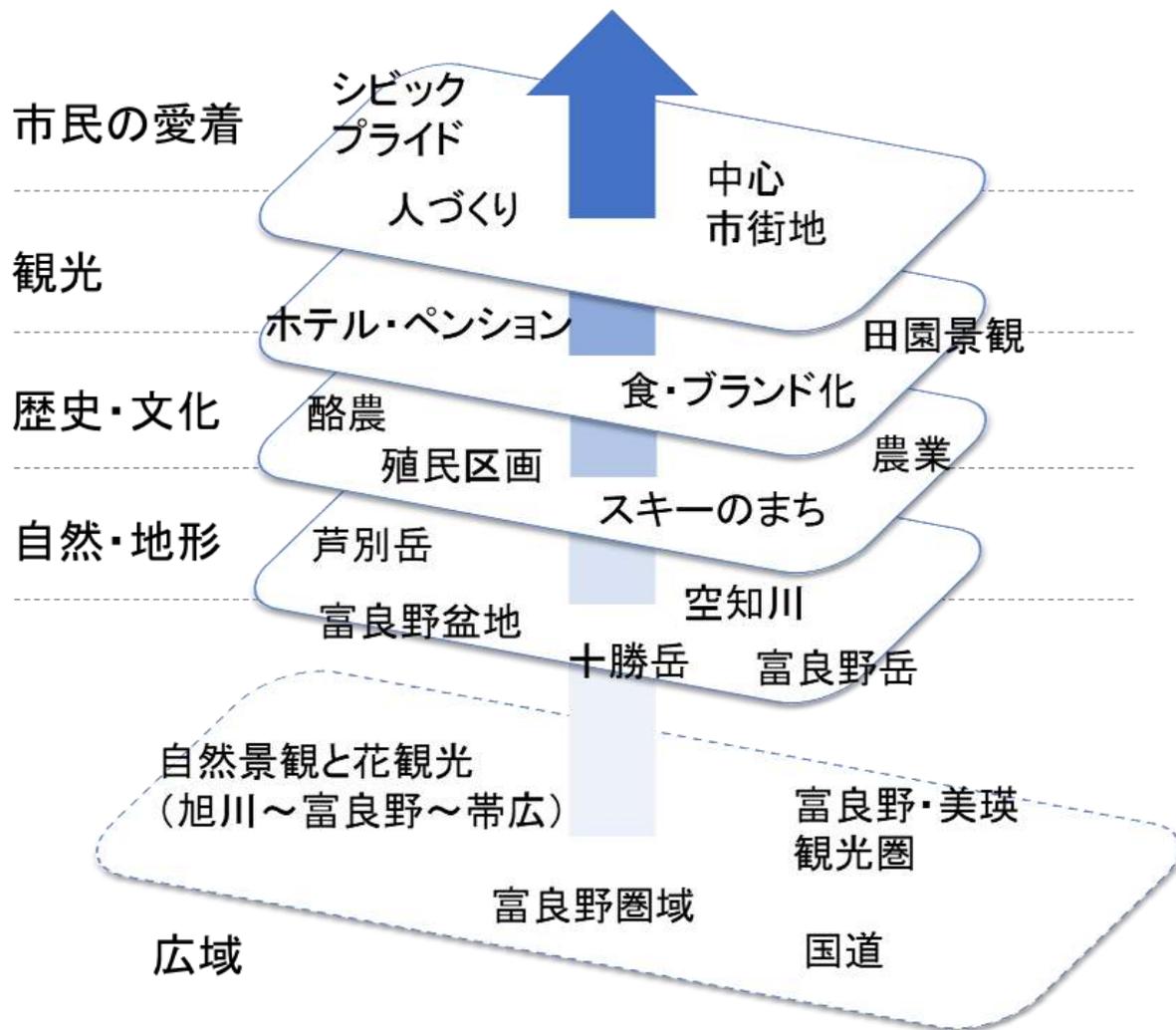
- 広域で見ると、富良野市は、富良野圏域（富良野市・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村）の生活圏の中心であり、買物等の民間消費が流入しています。



7. 富良野市の景観特性の概要

●富良野市の景観特性

■富良野市の景観特性



市民に富良野市の景観として親しまれているもの

旅行者の視点から、富良野市の景観として注目されているもの

富良野市の歴史や文化を象徴している景観特性

富良野市の景観の骨格となる自然環境や地形から景観特性

7. 富良野市の景観特性の概要

(1) 自然・地形からみた景観特性

山々に囲まれた地形と丘陵地からなる広がりのある景観



7. 富良野市の景観特性の概要

(2) 歴史・文化からみた景観特性

殖民区画を基本とした区割りの田園景観

不良農地の有効利用からはじまった丘陵地に広がるぶどう畑

東山地区の丘陵地帯に見られる夏場の風物詩・ニオ

スキーのまちの象徴であるゲレンデと自然との調和

■ 田園景観



■ 丘陵地に広がるぶどう畑



■ 東山地区のニオ



■ 富良野スキー場と自然

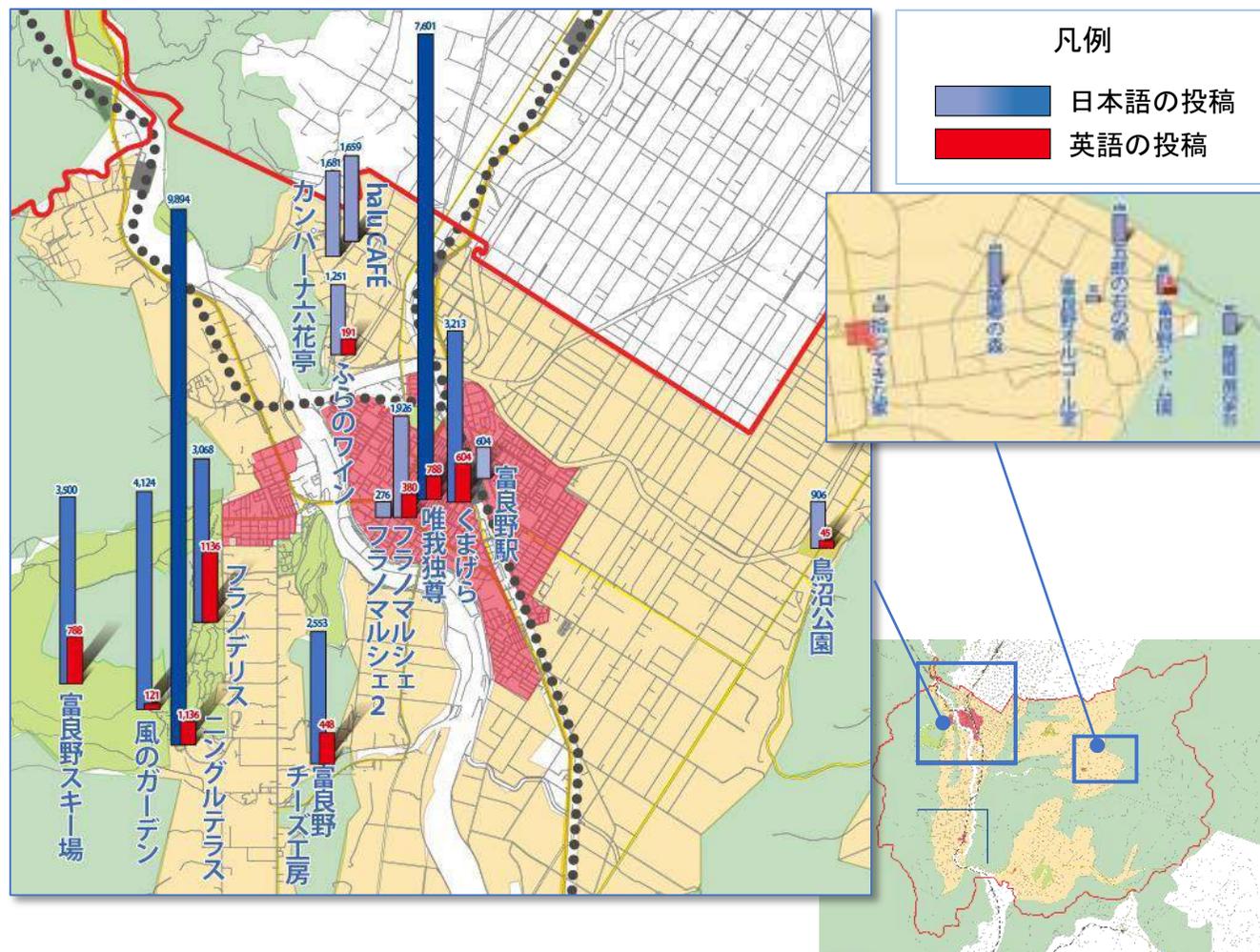


7. 富良野市の景観特性の概要

(3) 観光視座からみた景観特性

旅行者の関心の傾向に表れる景観的特徴

■ インスタグラムに見る観光資源による景観資源の抽出(平成30年8月31日時点)



■ ニングルテラス



■ 風のガーデン



■ 富良野スキー場



7. 富良野市の景観特性の概要

(4) 市民の愛着からみた景観特性

小中学校の校歌に表れる自然環境や景観的特徴

【小中学校の校歌の歌詞から見るキーワード(抜粋)】

山岳

十勝岳(煙)／芦別岳／富良野岳／
山並み／東西の峰々

みどり・
田園

緑あふれる丘／樹海／原始の森／田や畑／
稲

川、水

空知川／鳥沼の水の清さ／清らかな
流れ

その他

はしどいの花／こぶしの花／夏の雪／風雪

■ 山の上の残雪



■ 空知川



■ 高校から見える山並み



■ 田畑



7. 富良野市の景観特性の概要

●エリアごとの景観特性

富良野市の景観は5つのエリアに分けて考えることができます。

北の峰景観エリア
(リゾートエリア)



沿道景観エリア



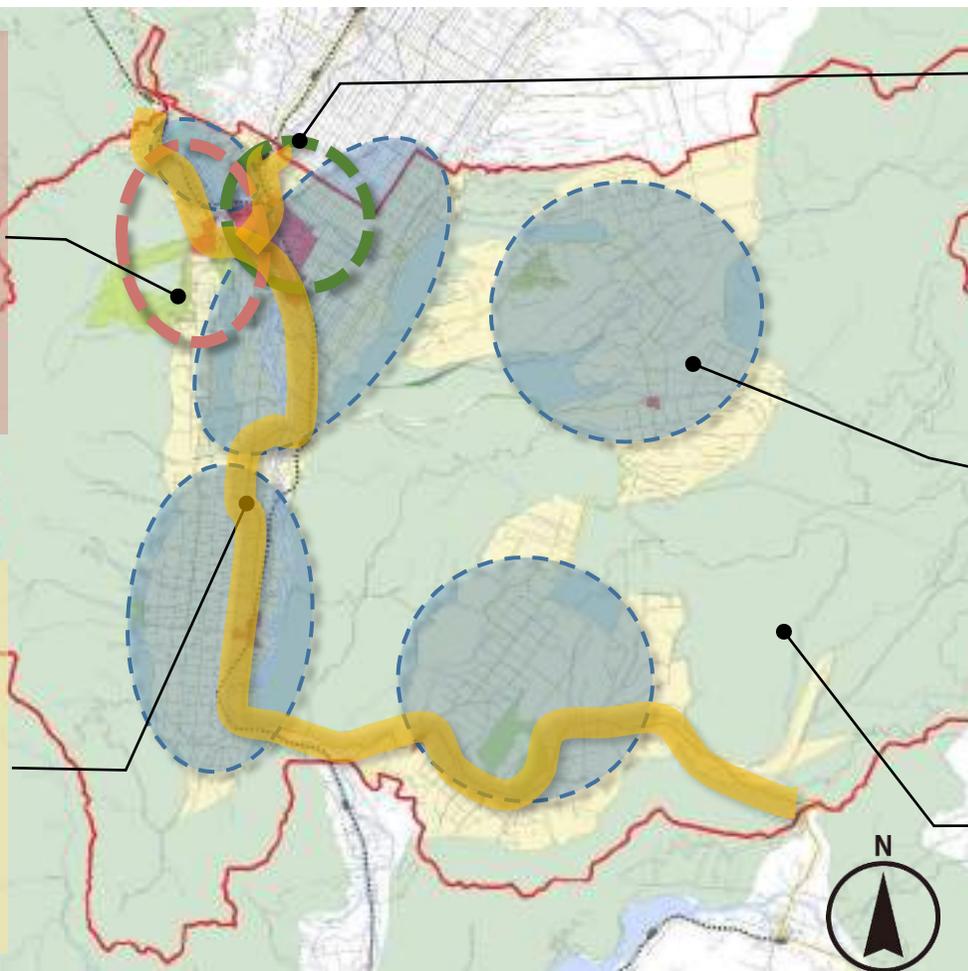
市街地景観エリア



田園景観エリア



森林景観エリア



7. 富良野市の景観特性の概要

●市街地景観エリア

- 富良野・美瑛地域の拠点
- 大雪山十勝岳連峰や夕張山地芦別岳への眺望
- 街並みの背景となる周辺の山林や丘陵部



●北の峰景観エリア（リゾートエリア）

- 富良野スキー場をはじめとする観光エリア
- 富良野市をイメージさせる重要な眺め
- 国道などからの眺め



7. 富良野市の景観特性の概要

● 田園景観エリア

① 清水山地区

- ・丘陵地に広がるぶどう畑
- ・市街地への眺望



② 市街地周辺地区

- ・多様な農業が見られる畑地



③ 山部地区

- ・山並みを背景とした平坦な地形の畑地



④ 麓郷地区

- ・豊かな森林に囲まれた広がりのある畑地
- ・旅行者が多く訪れる名所が立地



⑤ 東山地区

- ・丘陵地に広がる畑地



7. 富良野市の景観特性の概要

● 森林景観エリア

- 大雪山十勝岳連峰や夕張山地芦別岳の山々
- 東京大学北海道演習林などの豊かな樹林



● 沿道景観エリア

- 広域観光の幹線道路である国道38号
- 山々の自然から市街地、田園、森林のつながり
- 周囲の自然環境



〈検討テーマ〉

- 富良野市景観計画の目的と位置づけについて
- 富良野市の現状・景観特性について
 - ・富良野市全体の景観特性
 - ・エリアごとの景観特性
- 富良野市の景観づくりにおける課題について